

10 月 30 日 イタリア中央部の地震

2016 年 10 月 30 日 15 時 40 分 (日本時間、以下同じ) にイタリア中央部 (首都ローマの北東約 160km) の深さ 10km で Mw6.6 の地震が発生した。この地震は、ユーラシアプレート内部で発生した。この地震の発震機構 (気象庁による CMT 解) は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。

気象庁は、この地震に対して、30 日 16 時 20 分に遠地地震に関する情報 (日本国内向け、「この地震による津波の心配はありません。」) を発表した。

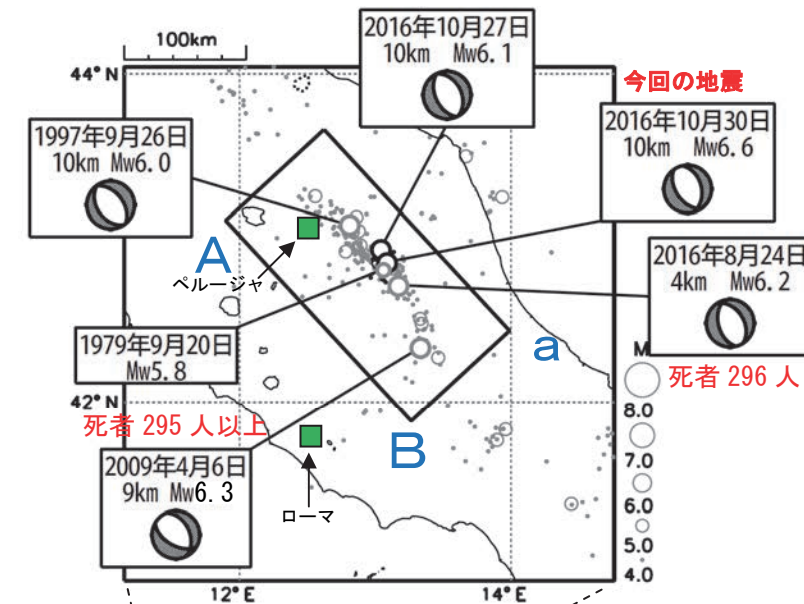
今回の地震の震源付近では、地震発生前の 2016 年 8 月 24 日に Mw6.2 の地震、10 月 27 日に Mw6.1 の地震が発生していた。今回の地震は、8 月 24 日の地震の震源の北西約 20km で発生した地震で、いずれの地震も局所的に東西方向に伸張する力が主に働くことによって発生している。

今回の地震で、少なくとも負傷者 20 人等の被害が生じた。

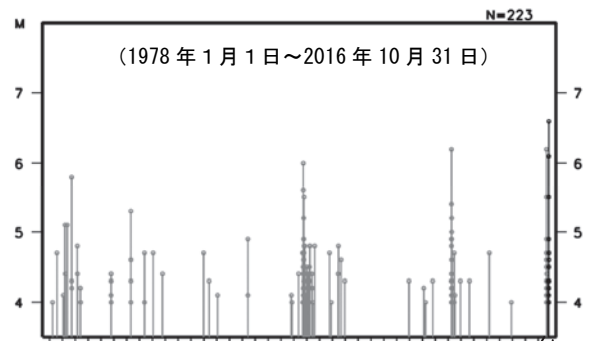
1978 年以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 a) では、M6 程度の地震が時々発生しており、2009 年 4 月 6 日の地震 (Mw6.3) や 2016 年 8 月 24 日の地震 (Mw6.2) では、いずれも 300 人近くの死者が生じている。

震央分布図

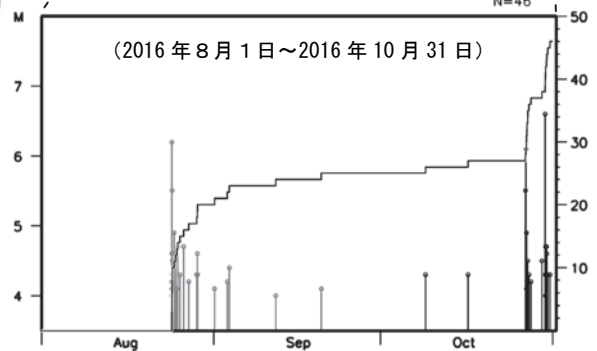
(1978 年 1 月 1 日~2016 年 10 月 31 日、
深さ 0~100km、M \geq 4.0)
2016 年 10 月の地震を濃く表示



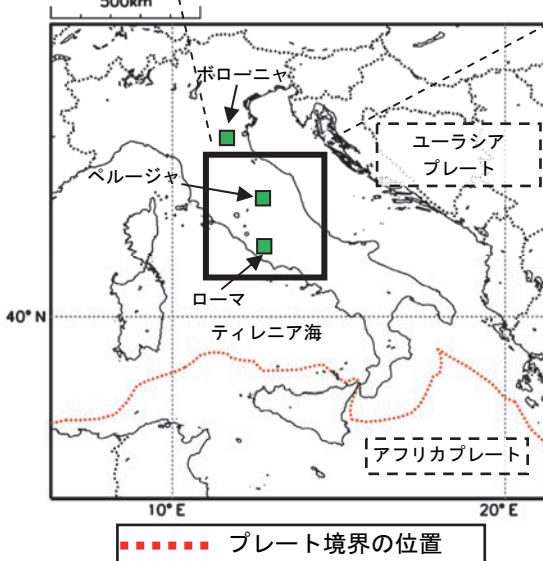
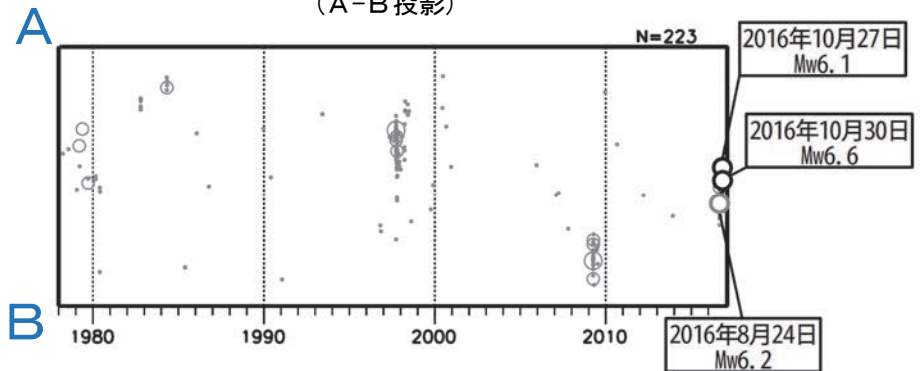
領域 a 内の M-T 図



M-T 図及び回数積算図



領域 a 内の時空間分布図
(A-B 投影)



※本資料中、今回の地震の Mw と発震機構は気象庁による。震源要素とそのほかの地震の Mw 及び 2016 年 8 月 24 日、2016 年 10 月 27 日の発震機構は USGS による。そのほかの地震の発震機構は Global CMT による。プレート境界の位置は Bird (2003) * より引用。被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による (2016 年 10 月 31 日現在)。また、2009 年 4 月 6 日の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.